向陽新聞
高知市塩屋崎町1の2
土佐中・高校新聞部
編集人　岡本　健治
発行人　加藤　楯文
印刷　高知印刷

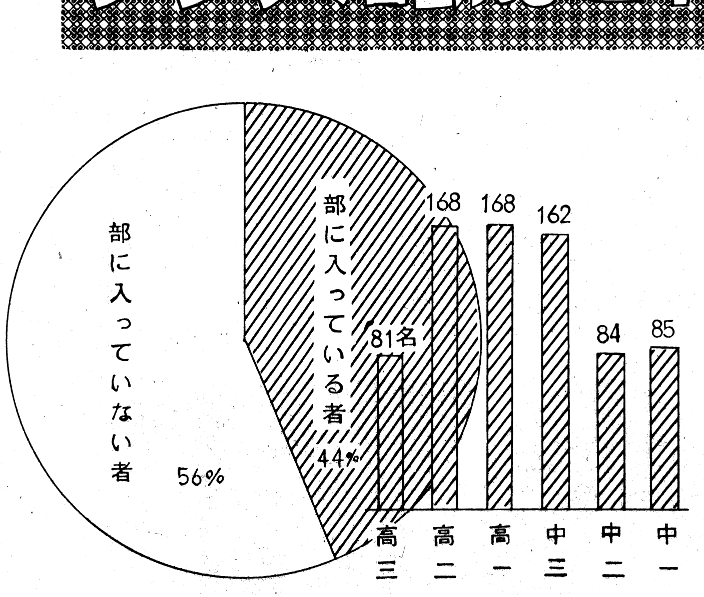
高橋写真館
高知市京町北通
TEL ②6758

クラブ活動はこれでよいか

最大の悩みは人員不足

少い文化部男子

名簿上のクラブ員は、七百八十六名（文化部、三百二十六名、運動部、四百六十名）で生徒総数の約四十四%（図示）を占めている。その中で実際に活動している者は、約五百名で、同じく約二十八%である。女子は、文化部が圧到的に多く、三百二十六名のうち二百名と文化部の六十一%を占めている。（たゞし、茶華道部では部員百十四名が全部女子）運動部は、四十八名で少ない。また、文化部の中には、女子ばかりとか、男子ばかりとかいう部が多い。



文化部顧問H先生談
「僕の部の最大の悩みは、人員不足です。もっとも名簿上には、多くいるが、仕事が地味な関係からか、大多数の部員は派手な仕事のみ顔を出して長続きしない」

同じくY先生談
「部員は多くいるが、器具が不足している。かりに器具が十人分あるとすると、最初のうちは多く来るが、終りには、十人になってしまう。けれども、本当に愛好する部員が残るというよい点もあるね」

文化部の一部員談（高一）
「よいリーダーがいなくて部の統制のようなものがとれずにこまっている」

どうやらこのあたりが、本校文化部の現状らしい。部員が多すぎてこまるという部は、少なくほとんどが、部員不足でこまっている。練習日数、および活動日数は、多い部で一週間全部で、少ない部は二日—三日であるが、平均すると四—五日である。運動部は、ほとんど一週間全部で、これに対し、文化部は、その性質上、やるときはぶっつづけにやり、やらない時は開店休業というようなものが多い。

運動部K君談
「練習場がない、週に三日位でもよいから確保しようと思ったが、それすらできない。広い場所を一つの部が占めるということは、やむを得ないかも知れないが、もうすこし、小さい部も思いきってできるようにしてもらいたい」

I先生談
「文化部は、練習時間というものはないが、原稿その他、いろいろの面で、生徒の協力を得なければいけないのに、本校生はどうしたものか、この協力するという面に無関心だので、活動ができないということもあり、部が何か小数のグループのようになってしまう」

運動部N君談
「練習時間もまあまあで、部もなごやかに行っている。しかしいろいろ個人負担が大きいので、財政的に苦しい」

この個人負担とは、どんなものであろうか。アンケートによると「個人負担がある」は八十二%（たゞしアンケートの、調査人員の対象は六十四名でうちわけは、文化部八名、運動部五十六名）で圧到的に多く、負担額は多い者で一学期間に二千円、少ない者で八十円、全体を平均すれば一人二百五十円のわりである。その用途としては主にバット、ボール、グローブの代金や所持品の修理代、クツ代、ラケット代、試合参加費、部費などが挙げられている。

一生徒談
「自分で好んでやるならば、ある程度の個人負担はやむをえないのではないか、私立という特殊な立場でもあるし。」

て、最後に校長による決定という形になった。今までは先生の希望だけで形式的に決めていた。）予算については「文化部は運動部にくらべて、予算額が少なすぎる。もっと多くくれてもよいではないか」「文化部の活動はいつでも地味なものが多い。そんなものにこそ多く予算を与えるべきではないか、との意見もある。

高校時代にはクラブ活動を

薄い学級と部の関係

先輩　部員

クラブ活動と学問との両立については、

P・F・C部員談（高一）
「学問とはただ試験の点をとるだけではない。いろいろのことを学び、それを自分自身の〃心のかて〃にすることに意味があるのではないだろうか。クラブ活動からは、教室での講義よりも、もっと得る所が多いかもしれない。」

このようにクラブに入っている者の多数が、部生活に「意義」をもっている。またある先輩は「卒業して思うに、極端にいえば部を除くと、いったい高校生活で何を得ただろうかと思う。高校生活では、部に入ってやるべきだ。きっと社会に出てよい思い出、よい経験になると思う。また変な言い方かもしれないが、部に入っていたことによって卒業後にも、母校ととくべく深くつながっているように思う」と高校での部活動を強調している。

これに対し学校側は、クラブ活動をどのように考えているだろうか。

校長先生談
「具体的な方針はないが、勉強とクラブ活動のどちらか一方にかたよらないように両立してもらいたい。クラブに入らなくても、教室以外の交際も一種のクラブ活動のようなものだと思う。文化部の活動は特に不活発であるので、なんとか策をこうじたい。特に文芸部にはもっとやってもらいたい。文化部の活動を活発にするには、生徒の協力が大切だ。小さいグループに個人的に入ってもよい。部は学校のものだから、よい指導者と助言者が必要だと思う。そして、そのためには、生徒と先生の接触をもっと多くすることだ。今年から顧問の先生を、校長の委嘱という形にした。これからもっと顧問の先生に親しんでほしい。」

それでは、今まで顧問の先生とは接触がなかったであろうか。

文化部T君談
「顧問の先生の中には、部の実体を全然知らない先生がいる。中には部長の名さえも知らない。先生の方にもいろいろの仕事があるとは思うが、もっと生徒と親しんでほしい。事実、顧問と部員の間がうまくいっている部は、明かるく部員の間もうまくいっているようだ。」

（今年は、部員の希望する先生と先生の希望する部を引き合わせしている。）

共学制などについて意見交換

私立生徒会懇談会開かる

市内の私立五高（土佐、土佐女学芸、高知、清和）の生徒会でつくられている私立高校生徒会懇談会の六回目の会合が五月七日（土）本校で開かれ「生徒会の二期制と三期制の長所短所」「男女共学と単学はどちらがよいか」「懇談会の主旨」などについて、活発な意見の交換がなされた。この会合は「生徒会向上のための懇談会として行なう」という主旨で、昨年十一月二十八日に本校生徒委員会の提唱により発足し、毎月第一土曜日、開催場所は各校持ち回りで開かれているもので、今回までに「クラブ活動をいかにして活発にするか」「他校を語る」「ホーム活動の現状とあり方」「高校生としての風俗と道徳」「生徒会と先生との関係」「ロング・ホームルームの内容について」「一般生徒と生徒会との関係」などの諸問題がすでに討論されている。

次回は土佐女子高で「公立高校の生徒会との交流方法について」と「この会で諸施設の慰問を行うかどうかについて」討論する予定である。

主張

慎重な検討を

成績評価方法の改革案について

四月に教務の意見として、成績評価方法を改めるかも知れないという不確かな発表があった。これは現在行なわれている学年単位の順位制度を改めて（但し、中学校）この制度から生まれる意味のない劣等感、あるいは利己的な思想等を無くしようとするものだが今後の本校の歩む方向にも、或る意味で非常な影響があるむづかしい問題だけに、学校側からまだ何も発表されていない。

もともとこの改革案は教員の間で話がもちあがったものを、それではと教務の方で取り上げたものだが、この動きに対して非公式ながら父兄の間に相当の反対の声があがっている。その理由もいろいろ上げられているが、現行の制度を肯定し、その長所として『順位は生徒の勉強態度の反省の尺度〇〇となる』といっている。勿論この制度はそれを目的の一つに入れているのだから、そうあってしかるべきものだが、現実ははたしてその言葉どおりだろうか。現況を見てもこの言葉どおりに順位番号が生かされている者は、ごくわずかにかぎられているように思われる。上位にいる者にとっては、反省の材料にもなろうし、励みのもとともなろう。しかし下位にいる者にとってはそうもゆくまい。

そこであえて言うならば、現制度は成績のよい者には生かされ、改革案は下位の者を考慮してのものに分かれるだろう。さて、それではどちらが良いかということになると、一考も二考も要するのだがたゞ間違ってはいけないことは、今度の改革案は、現在の段階では順位番号を改めようとするのであって点数の記録制度を1から5までの等級順位制にかえるとか、又他の点を改めようとかは案外であるということだ。すなはちもし順位番号が通信簿から除かれたとしても勉学態度の反省や励みの材料には少しもことかゝない。かえってその思考が純粋で明朗なものになりはしないだろうか。また順位にのみこだわる者にとっては別の危険がある。と言うのはかりに皆なの者が良い点を取ったとする、反対に皆なが悪い点をとるとする、しかしその場合、順位番号にこのありさまをどのように表現できるだろうか。結局、この数字は成績が良くても下位、悪くても上位を表わすのみで、健全な成績の評価とはならない。それのみか、努力の割に順位のあがらなかった者にとっては、実のないあきらめや卑屈な態度が生まれたりしてかえって害さえある。

しかし一方またいろいろな懸念もないではない。この順位が通信簿から除かれたら今までの下位にいたものがそれをいいことにしてあるいはそう意識しなくても勉学から力を抜いてしまいはしないかという事だ。そうなれば、結局教師を通じて父兄に順位が知らされることになるから同じことになると、教務では言っている。なるほどその可能性はあるにはある。

しかし、その場合でも何番だから努力しろではなくて、もっとよい方法がありそうだ。またたとえそんな事態が起ったとしても、換言すれば改革後も一部同じ状態が考えられるとしても、それは改革案を否定する理由にはならない。

最後に忘れてならないのは、現在順位をつけられている生徒はこの問題を検討する力を持たないだろうということだ。彼等は作られた環境の中で生活しなければならない。それだけに父兄にも学校にも重大な責任がある。

何にしろこの問題は現行制度に満たされぬ点があり、不満があったからこそ出て来たものであるのだから慎重な検討をして、取捨いづれにしろ誰れもが納得のゆく解決をしてほしいものだ。

ひとこと

○…前学期からもめつゞけていた向陽会費値上げ案が、新学期早々の四月十三、十四日それぞれに開かれた中学高校生徒総会で三度目にようやく可決された。

賛成は百三十三票
反対六百五十四票。

生徒委員会のほうでは、さぞホッとしたことでしょう。

○…可決されたといっても、生徒の中には、あまりたびたびのことなので根負けして、いや、議論するのがややこしくなって賛成した者も少なくないでしょう

○…金額は一年間合わせて百五十円也。

必要な部数制限

○…ところで現在本校には、部が四十あまりもあって、県内でももっとも部数の多い学校の中に入っています。ところが、それらがすべて部としての活動をしているかというと、中には部という名だけのようなものもあります。そんな部でも部費はやはり与えられています。部というものは、ある趣味をもつ人々の集まりであって、われわれ一般生徒がそれを補助する形で部費を与えるのであるから、活動もしていない部に、それが使われるということは、絶対にゆるされないことです。こういう部はどんどん除いていった方がよいと思います。

やたらに部を承認した後で、生徒にその費用をわずらわすよりは、各部の活動状況、その存在価値などを見て、部を減らすことに頭を使ってもらいたいと生徒委員会に望みます。

○…毎年、予算会になると、各部は競って必要以上の金額を請求しそれが当然であるかのように考えています。これは大変な誤りで、自分達のために他人が補助してくれているということを、しっかりと心に置くべきです。

○…運動部などで[illegible]年は成績が良かっ[illegible]上げる、悪かった[illegible]ど、クラブの活[illegible]って、生徒から報[illegible]とする部がありま[illegible]のほかです。部活[illegible]います。部の成績[illegible]て費用がよけいに[illegible]ないとかいうこと[illegible]はずです。

○…授業料さえや[illegible]多いのです。こん[illegible]で成りたっている[illegible]から、もっとも適切に、正しく運営して もらいたいと 思います。

（T・K）

組合長に玉真先生

土佐高教職員組合

本校の先生方が、労働組合を組織したのは一昨年の九月で、数学担当の竹村一水先生を組合長として発足したが、この五月二十五日組合役員の改選が行なわれ、組合長には、新たに社会科担当の玉真先生が、監事には、元吉、古谷、高崎、新階（もと有沢）松浦の諸先生方が、会計監査には平岡、木内の各先生方が選ばれた。

この組合は先生の権利主張のために設けられたもので、一見して一般の教員組合と変りはないが、現在の日教組とはまったく関係なく独立した本校一校だけの教員組合である。

加盟しているのは学校の監理者である校長先生と、西野教頭先生を除くすべての先生方である。

一般に私立校においては、こういう先生方の団体行動を喜ばず逆に圧迫する傾向があり、高知県でもK私立校では、教員組合を作ろうとして経営者側から圧力をかけられたという例がある。

これに対し本校では、開放的であり、監理者側の西野先生は「本校としてはそれに対して何もいうことはない。先生方はそんなことには自由だし、またそれが自然であると思う」と語られた。

なお、高知県の私立校で教員がこのような組合を組織しているのは本校だけである。

大阪で一泊、バスを大活用

中学修学旅行改革は成功

今年も、五月十三日から四泊五日の日程で、中学三年生が、京都奈良、大阪への修学旅行を行なった。

（写真は京都の夜景）

今年は、例年と行動を違えた点が多く、たとえば生徒二百五十名全員が朝の汽車で出発し、大阪で一泊したほか、京都では、比叡山へ登ったことなどである。（なお例年は、生徒を二班に分け一班は船で、もう一班は汽車で出発し、大阪では泊まっていなかった。）

こんなに、今までと変った行動をとったことについて、引率の古谷先生は、

今までの夜行では、非常に疲れて大阪での見物が無意味になっている。大阪の夜景を生徒に見せたというだけでも良かった。しかし大阪の旅館が悪かったのは残念だ。これが良かったら、もうし分なかった。

また今度はバスを使うことが多く、大阪からバスで奈良の法隆寺へ、奈良から京都へ、京都から比叡山へとすべて、バスによった。そのためか、京都での時間は更にゆったりしていた。京都では、旅館でおとなしかったので、非常に賞められるなど生徒の行動はなかなかよかった。というわけで、今度の改革は成功であったといえる。

と語られた。

以後も、こういう行動をとることになるだろうとのこと。

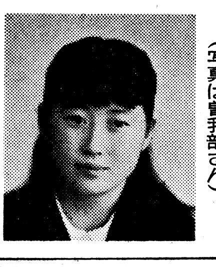
曽我部さんアメリカへ留学

（中谷さんに次いで二人目）

アメリカンフィールドサービス（AFS）の奨学生として、本校より、曽我部律さん（二H）がアメリカへ留学することになった。曽我部さんは、中一の頃から平林先生に指導を受ける一方、マリア園（新本町一丁目）のバイブルクラスに通って、熱心な英語の勉強を続け、中三のときには、毎日新聞社主催の、高知県英語弁論大会において優勝し、ヘイズレイ杯を獲得した。その後、同じく本校よりAFSの奨学生として渡米し、昨年の八月に帰国した中谷和子さんの話を聞いて、応募し、昨年の秋に行なわれた、本県での書類選考、松山での面接、東京の文部省における筆記試験を経て、アメリカのAFS本部での最終選考にパスし、このほど受け入れ家庭（ミネソタ州セントクラウドの州立病院内精神科、精神病理学者のリンドレ博士の家庭）が決定した。そして七月二十六日に日本を出発する予定。

渡行費、滞在費は一切AFSの負担である。また、曽我部さんや中谷さんの影響を受けて、今年はAFSの奨学生募集に応募する人数が急に増加し、高一、高二をあわせて約二十名に達した。そして試験の準備に多忙な毎日を送っている。

曽我部さんの話　アメリカは日本より大変スケールが大きいので、何でも大きいものを見てきたい。また、本場の音楽とかバレーを研究してみたい。



（写真は曽我部さん）

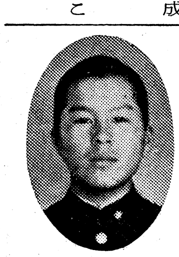
向陽プレスクラブ春期総会開かる

（東京支局発）五月二十二日午後一時から、向陽プレスクラブ春期総会が東京新宿アサヒビヤセンターで開かれた。当日は、山崎和孝氏（二十六回生）岡林敏眞前主任ら三十二名が出席した。まず昨年のプレスクラブの活動。会計報告ののち、本年度の活動として、プレスクラブ夏期総会（高知）恒例の「先輩大学生に聞く会」の開催「向陽クラブ」第三号の発行などを行なうことに決定。ついで役員改選にうつり、あらたに東京支局主任に森木光司氏（東邦大・三十二回生）会計に国見昭郎氏（早大・三十四回生）その他支局員三名が選ばれた。

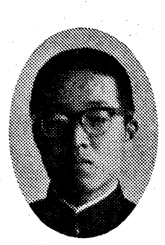
委員長に山脇君

新四役選出

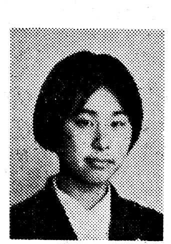
山脇君



渋谷君



檜垣君



村山さん

高校生徒委員会では、四月九日（土曜日）社会科室において、本年度第一回の生徒委員会を開き、新しい四役を決定した。委員長には山脇健作君（三O）副委員長に渋谷健一君（一T）進行係に檜垣明男君（二H）書記係には村山眞紀さん（一O）がそれぞれ選ばれた。

山脇委員長談　今年のホープとしては、規約改正を行ない今後の生徒会の基礎をつくりたい。

東京地区同窓会開かれる

（東京支局発）五月二十五日午後一時から東京都目黒の「二楽園」で、恒例の東京地区同窓会が開かれた。母校からは、河野、山岸両先生が出席し、[illegible]

キャリーさん来高

AFSの留学生として、アメリカより、Karen・Lee・Stantonさん、中谷和子さん[illegible]へくることになった。六月十日に高知へつき、八月七日に出発する予定。

らくがき

「目に青葉、山ほとゝぎす、初がつを」の句の思い出されるシーズンとなりました。二月には卒業生を送り出し、四月にはニューフェースを迎え入れて、はやくも二カ月を経ましたが、校内にはまだ新鮮な空気が、みなぎっているようです。先輩からバトンをうけつぎおわって「サア前進だ！」ということでしょう。▼さて、ノッケからこんなことを言うのは変ですが、その道の専門家が「さいきん、全国的な傾向として高校でのクラブ活動は、だんだん低調への過程を進んでいるようだ。試験地獄といわれ、大学入試が激烈になっていくのとともに云々」と言うのを聞いて、ちょっと気がかりに思いました。本校でも、そんな傾向がありそで、なさそで、ありそうです？▼ある大学教授のお話ではないが、とかくこの世を、あげて準備時代です。すべて、次に来たるべき時に備える時代です。高校は、すぐ上の大学への準備というわけです。しかし、大学へ入る目的で高校に通っているのだから高校時代は大学に入る準備をしなくてはならない、というのだったら高校は大学予備校です。そうなれば高校というものの価値はなくなるでしょう。▼しかし、いくらクラブ活動が高校生活の副次的なものであっても、その価値というものは、もっと大きなものでしょう。▼しかし「二兎を追う者は一兎をも得ず」とか、また「クラブか受験か、二つに一つをえらべ」など雑音を入れる者も多い。▼先代大嶋校長は「学問とスポーツの両立」と銘うってクラブ活動のシリをたたきました。現在、曽我部校長も積極的にクラブ活動P・Rをされています。しかしこれだけでは〃笛を吹けども踊らず〃です。それは生徒が「入試」という大きな壁にボケてしまい、全ての行動にそうであるように、これにも無気力になりすぎているからなのです。これには先生方の適切な助言が必要だと思います。▼また、今年の文化祭について何だかもめていたようですが、文化祭なども、単なる校外へのデモンストレーションに終らせず、この機会に先生、生徒全体が参加し、分けあって進めていったらいかがでしょう。たとえ内容が低下したとしても、それを進めて行くことによって得られる貴重なものがあるでしょう。▼理想は高くもって行きましょう。悔いなき学生生活を過ごすことのできるようお互に努力が必要です。

（T・M）

イリキ眼鏡店
播磨屋町　TEL ②0998

6月，12月の ボーナスでテレビ
京町　穂積電気商会
高知市京町　TEL ②6646

TEL ②0105・0106
すし柳
高知市南ハリマヤ町

参考書・専門書の御用命は
金高堂書店
TEL ②8285・8286
土電会館書籍部
TEL ②代0111

土佐高の店
凡ゆるメーカー品の揃った
白亜堂
帯屋町東宝劇場西三軒
TEL ② 2473

土佐高指定店
元田帽子店
帽子―帯屋町一丁目
洋傘―帯屋町二丁目
TEL ②2591

楽しい学生生活の記録を
あなたのアルバムに残しましょう
カメラはキタムラ
堺町19 TFL ②3154～6

御進学に
御入学に 鞄なら
とらや
正札で安心して買える専門の店
オビヤ町 TEL ②2592

先生に世話をかけろ

増そう生徒・教師の接触

発言少ないクラス代表

四月二十五日、今学期初めて「校長先生と生徒との懇談会」が、懇談室で開かれた。高校の各ホームから代表十一名、それに四役らを加えて約二十名が参加した。

生徒　売店の金網はどうも感じが悪くて買いにくいが、取りはずせないか。

校長　人手不足を補うためにつけたが、あのようなことではいけないと思っている。

生徒　盗難を防ぐためか。

校長、それもある。一列励行も含んでいる。

—上ばきについて—

四役　上ばきの件はどうなっているか。

校長　はっきり知らない。

四役　何か別にとる方法はなかったか。

校長　具体的にどんな。

四役　何もこうまでしなくても例えば、もっと罰則をきびしくするとか、何か他に方法があると思う。

校長　今まで、ずっと上下混同を反省させる様に努力してきたが、どうしてもできないので仕方なくこの処置をとった。

生徒　高三の生徒の中には「あと一年でこの学校ともお別れなんだから、新しく靴を買うのは馬鹿らしい」という者もあるが。

校長　そんな一年間ももつような靴ではない。（笑声）

四役　このことは主任の先生も余りくわしく知らないし、学校側が一方的に決めたのはどうか。

校長　こういうことは、何もかも生徒の意見を聞いてやらなければならないというものではない。皆に都合がよいようにしろといっても、それは無理だ。

生徒　スリッパは許してもらいたい。

校長　一旦決った以上、スリッパもいけない。

—部活動について—

校長　今まで文化部の活動は不活発だ。それに今までは各部の顧問の先生の中にも、名前だけという様な先生もいたので、今年は一応校長が各先生に委嘱するという形式をとった。

また、生徒の方から学校への連絡が少ないので学校側の計画と、生徒の計画とが食い違う場合があるちょっとおかしい言い方だが、生徒はなるべく先生に世話をかける様に。

—今年の行事について—

四役　校長として文化祭をどう思っているか。

校長　私としては文化祭はやりたいと思う。

生徒　援助は出るか。

校長　去年は大分出したが、今年はまだはっきりしていない。

四役　予餞会について—

校長　今までの予餞会は全然意味がないから、やめて欲しい。文化祭にこれを織りこんではどうか。

四役　運動会について、去年と同じ方法でやるか。またグランドはどちらを使うか。

校長　具体的にはまだ何も決めていない。

—校内の雰囲気について—

四役　先日学芸高校に行ったが、校内に何となく楽しい雰囲気が満ちていた。この学校にはそういう雰囲気がないと思うが。

校長　確かに学芸にはそういう所もあるが、この学校にもいい所は沢山あるだろう。（笑声）

生徒　この学校は、生徒と先生との接触が少なすぎると思う。そういう点で、例えば先生が生徒を一緒に掃除をするとか、そういう機会が欲しい。

校長　私としては先生方に掃除までやらせるわけにはいかないし、また、君達も小学生じゃないんだから、そうまでしなくてもいいだろう。先日高一のあるクラスが放課後茶話会をしていたが、そういう意味で非常に良いことだと思う僕も参加したいと思っていたが、残念ながら誘ってくれなかった（生徒笑う）。結局さっきもいったように、もっと先生に世話をかけろ、ということだね。

その他生徒から「照明が悪い」「黒板を塗りかえて欲しい」等の苦情も出た。

以上不活発だったが、その割に内容は豊富であった。しかしクラスの代表は、当日の朝知らされたために、クラスの意見をきけず、ほとんど発言しなかったので、生徒会の役員だけが発言していた。

ちょっと失礼

平林泰人先生

僕の生き方はダイナミック

夢は世界一周

ある晴れた日曜日、記者は土佐高屈指の酒豪で、万国共通（？）の「ヒラリン」の呼び名を持つ英語担当の平林先生を下宿に訪問した。先生は四畳半の部屋の中で趣味？の酒をたしなみながら「中学時代の思い出ゆうたら、そうやねえ……あの頃はちょうど戦争中やったきねえ、アメリカの艦載機に機銃で射たれて、こわいこと死にそうになったことやねえ。その当時僕は海南中学におって日章の飛行場の寄宿舎に寝とまりし、今の土佐高の熊野、広田、松木、渡辺先生等の指揮のもとに朝は五時ごろから起きて労働させられよったきね、そのころ僕は横に太っていてブタという名前までもあったね。（記者一同ふきだす）僕はそれから海軍へはいろうと思って試験を受けたけれど背が一、五センチ足らいで失敗したワ」記者またまた爆笑、最初から笑い通しである。

「僕は大学の卒業の時の論文にはアイルランドの詩について書いたわ、まあ、ゆうたらアイルランドは僕の恋人やったきねえ」（諸君、過去形に注意）、ところで先生は話の間も例の趣味の物を盛んに口へ運ばれる。

（そのためかな、この舌のまわるのは）、

「僕がアメリカのボストンにいた時に文学者の墓や、独立戦争の跡を見てまわったけんど、そんな所におってみいや、そらあおまんちよっと生きがいを感じるぜよ。」

と感慨深げ、記者の心ははるか自由の天地、アメリカへ飛ぶ。先生は酒といっしょに盛んにタバコを吸っておられ、曰く、

「僕がタバコをのむ時は見合いの時、酒をのむ時、それに女性と話をする時やねえ。女性と話をする時にのむのはねえ相手の女性がもじもじ下を向いてしまった時などタバコをおもむろに出して火をつけて間をかせぐためよ。どうぜ親切やろうがえ？」

後の言葉に記者一同ニヤリ。さていよいよ我々の最大関心である、先生の結婚についておたずねすると、

「ぼかあ必ず結婚するぜ。」と強く言い切られた。

「恋愛結婚が見合いかわからんけんど、その中間でやりたいねえ。だいたい嫁さんを選ぶのはネクタイを選ぶがと一緒よ」

と大言され、さらに、

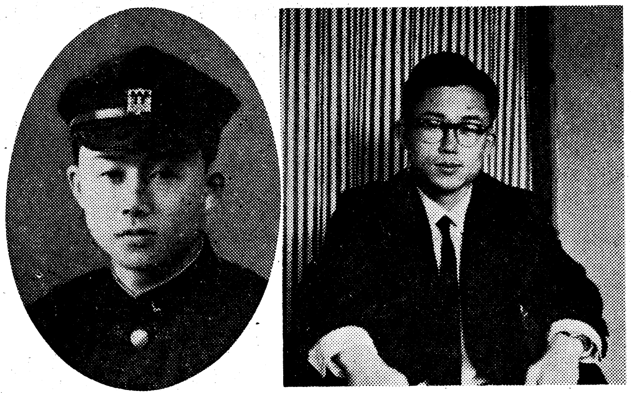
「僕の望む女性は今の僕のダイナミックな生き方について来れるような人やね。けんど近いうちに外国旅行をするつもりやというと、誰もきてがないわ（さては〇〇したな）だいたい古今東西の女性は土地にくっつき、一生小さな幸福を守り続けていこうとするがじゃねえ」

女性よ、ダイナミックな生き方をしたまえ。また先生は交際の相手（女性）をしょっちゅう変えられるそうだが、

「そりゃあ一人の女性とつき合っていて、その人が僕を好きになってみいや、別れる時に傷つくろうがえ。」

わかったような、わからないような話。最後に今後の希望、その他についておたずねすると、

「大げさな意味じゃなくて、社会を外国の先進的要素にまけないように合理的にしていくことや、それには皆の協力が必要やねえ、協力という面ではみんなクラブ活動はなかなかよくやっているけれど、もうすこし横のつながりが欲しいな。それに僕が皆に希望することは、国際的に通用する人間、自主的な人間になってもらいたいね。僕も酒多少は？のむけど、一Sの主任だし、僕一人の身体でないので、今後はできるだけ少なく飲むことにするよ。」（このけなげな決意よ）先生のおもしろい話に、時を忘れて聞きいっていたが、記者一同もようやく夕やみの濃くなったころ、先生の下宿をおいとました。（H・T）



大学時代　　現在

大学時代のこのイカス顔、それにくらべてこの年老いた……ああ無念、時間がうらめしい……

新部室、売店、食堂できる

総工費四十七万円

学校では新学期にそなえて、校内の改築および修理を行っていたが、春休み中にほとんど終った。この工事は三学期が終ると同時に始められたもので、一般運動部室剣道部室、柔道部容、それに体育館の蛍光燈の改修はすでに春休み中に終り、のこる食堂（排水溝を含む）はだいぶ遅れていたが今月十日に完成、待望のうどんが食べられるようになった。

こんどの改築は「食堂がほしい」との生徒の声にこたえたものであり、学校側もこの食堂については、まえまえから考えていたそうだが、適当な室が無くなかなか実現できなかった。それがこんどっと開設のはこびとなったもの。今までの柔剣道部室を改築してやそれにともなって剣道部室、柔道部室は十九室とその階下の空室であった室へ移り、そのため今までの売店を一Dの教室にあて、そして売店は十一室の社会科室を使用するようにした。これらの改築および修理の費用は総額およそ四十七万円（排水溝除く）である。

なお、売店を今のように金鋼を張り窓口を小さく、また少なくしたのは、一列に並ぶことによって混雑をまぬがれるばかりでなく、売上額の差を無くすためである。現在は、文房具と牛乳などの方だけこのようなやり方をしているがいずれはパンの方も行うようだ。また食堂で売るのは、うどん、そば（それぞれ二十円）の二品で、買い方としては、券を売店で買い自分で品物と引きかえ、食器も自分でもどすようになっている。この食堂の係の先生は渡辺、清水、町田の三先生で、手伝い人（または料理人）を三人雇い、生徒の方からも、五、六人に手伝ってもらっている。なお自転車置場であったプールの下を部室に使ったため自転車置場がなくなり、これについては学校で考慮中だそうだ。

連日大入り満員

食堂開設

五月十日全生徒待望の食堂が、いよいよ柔、剣道室跡で、店開きした。まだ試験期間だそうだが、連日大入り満員の活況を呈している。開店してまだ間もないが、現在まで一日約五百人がこの食堂を利用している。三時間目の終りから、五時過ぎまで開いている。放課後は主として運動部員や、遠方から通って来ている者が、利用している。なお、先生方には混乱をさけるために、授業中を利用してもらっている。設備やその他のことはこれから徐々に改善していくそうだが、現在でも県下の他の学校と比べても決して劣るものでなく、この設備のことについて、渡辺先生はわざわざ保健所まで出かけられて、指導を受けられたそうである。

この食堂で扱うものは今は「うどん」と「そば」の二種類だけだが、学校では氷とすしを考慮中でもし売るとなれば六月の中頃からの予定である。

この食堂から上る利益は、まだどの位かわからないが、全部生徒のために使うそうである。また、例年、夏にはこの室を女子の更衣室に使っていたが、これは水泳の授業が始まるまでには、体育科の先生とも相談して、どこかへ作るそうである。

これに対し、生徒の中からは「うどんの汁がうすい」などの批判も出ているが、けっこう皆うまそうに食べている。

軟式野球部

新たに発足

軟式野球部が新しく設置された。五月十三日に行われた第三回高校生徒委員会で、楽しむ野球ということをモットーとする野球部が認められた。練習時間は朝で、他の運動部のジャまにならないようにして、なるべく毎日練習するそうである。

何年か前に、全国大会で優勝した時は部として承認されていなかったが、こんど正式に部として発足することになった。

顧問は竹村一水先生、キャプテンは二〇の中田君で、部員数は現在一九人である。

写真は盛況の食堂

声

金網を除いて下さい

新しい食堂、売店ができて非常に、よろこばしいことですが、苦情を一つ、あの金網、何か、オリの中に入るようですね。一列にならんで買わすためだとか、盗難をなくすためだとか、聞きますが、私達が、一列にならんで、買うのをまっていますと授業におくれます、盗難をふせぐのだ、といいますが、いままで盗難は、あったでしょうか何も銀行ではないんです、また金網をはった売店なんか、今まで、見たことがありません。民主主義の世の中ですよ、あんなものをしていると、特別、物が安くない限り、普通の店ならだれも、買いにきません、同じ物を売る店でしょう（くわしいことは知りませんが）利益のあるときも、損をするときもあるしかし学校の売店は、絶対損はしないでしょう。ちょとおかしいが、私達は、生徒であり消費者です。どうかあの、だれが見てもいやになる、学校の、はじをさらしているような金網を除いて下さい。　高一、J・K

渡辺先生談（購買部）、

今のところ除く考えはない。窓口の混雑は、人員の不足が原因だと思う。盗難は以前はあったが、今はない。

喫煙は職員室で

昨今、生徒間の喫煙が問題になってたびたび先生方から注意されてますが、私達生徒側からも今一度注意します。先生方は生徒の喫煙をする前に自分達も注意することです。つまり喫煙は職員室でやって教室、廊下では絶対しないで下さい。神聖な学園です。映画館や車中で見かける無分別な大人にならないで教師としての自覚を今一度高めてほしい。（高三Y・F）

西野教頭談

教室や廊下で喫煙するということは、たしかにいけないと思う。しかし学校内、たとえば職員室などでする場合は、いくらしてもよいと思っている。

上靴の色に思う

物語にでもでてきそうな、緑色の靴に、統一、前から上下兼用を、にがにがしく思っていた私にとって、こんどの上ばきの処置に期待していましたが、その色と、靴をみて、がっかりしました。まるで、因人靴、もっとよい色はないでしょうか。これでは余りにもひどすぎます、生徒側に、相談したら、もっとよい色が考えられましたのに、特に高校生は、どこかの幼稚園へ行っている感じ、学校側の善処を望みます。　中三K・I

中山先生談（生徒部）

その色は、他県などですでに利用している学校があり、それらを参考に生徒部の相談で決めたが、不満ならば変えてもよい

中高合同クラスマッチ

去る五月一六、七日にわたって行われた中、高合同クラスマッチは、あいにく土佐名物？の雨に一日たたられ、生徒委員はバケツで泥水を汲み出すなどの重労働をさせられた。

今年は中、高合同で行われたせいか中学生は一段と闘志が盛んだった。試合前日まで雨天だったので体育館は運動部員の練習とかち合って、芋を洗うような盛況振りだったので、選手の練習振りは、一般に不足だったようだ。

結果を見ると、特に優れているのは、高校三O・中学三Cなどだった。大会の運営や種目についてはいろいろの意見が出された。

中三生談　もう少し、時間と場所をうまく使って不公平の少いようにリーグ戦にしてもらいたい

高一生談　男生徒の大半は試合に出ることができず一日中、立って応援していた。これからは、クラスマッチの意義である〃勝つことよりも、出場すること〃を生かして、選手を一セットごとに交代するとか、種目を少し増すとかして、全員がクラスマッチを有意義に過ごしてほしい

やはり少ない女子入学者

一クラス十二名

新しく学芸中学校を加えた、県内の私立四中学の入学試験は、三月二十六、二十七の両日いっせいに実施された。本校の受験者は七一一名で合格者は、二六三名であった。ことしも例年通り女子の数は少く各組に十二、三名位である。

なお中二、中三への編入希望者は欠員四名に、五十名がおしかけたが、両学年ともに、欠員の二倍の人員をとった。

また、高一の編入希望者は（八十一名）で、例年よりやや少なかった。

他校かけある記

高知学園の巻

四月二十六日(火)旭ガ丘に高知学園を訪問した。

丘の上にある学園は勉強や、スポーツをするのに絶好の場所である。玄関で旭が丘新聞部の出迎えを受け案内してもらった真新しい鉄筋二階建（一部三階）の校舎は美しく、校舎内も非常に清潔だった。教室の後には、一人一人の小さなロッカーがあり、皆それを靴箱に利用している。屋上には大きな鐘と天文台とがある。この鐘は『世界の鐘』と呼ばれ、直径が約一メートルある。そしてその周りには、二十二カ国の貨幣をとりつけてある。という、実にその名に恥じない立派なものである。

この鐘の音の
とどろくところ
永遠の真理と
希望にかがやく
世界の平和
友愛にみつ

これは鐘に刻まれた言葉である。天文台には長さ一・五メートルの望遠鏡がある。ソ連が人工衛星を打ち上げた時は、天文部がおおいに活躍したそうである。屋上を西へ行き詰めると、この校舎と並んで、鉄筋で四階建の校舎を建築中だった。高知学園工業高等学校である。今年の二月に着工し、九月に完成する予定であるが、現在生徒は高知学園で勉強している。この工業学校は、電機通信科、化学工業科精密機械科の三部門に分かれ、それぞれ専門部門を学ぶわけである。地下には県下高校唯一の地震計があり、地学部が本県の気象界で大変活躍している。

体育館へ行ってみると、正面舞台ではブラスバンド部、下では卓球部や体操部が練習に励んでいた。

高知学園の中学、高校生徒総数は二千百六十人で、高校の方は、普通科と商業科とに分かれている。普通科は進学組で進学率は余りかんばしくないそうだ商業科はもっぱら就職組で、就職率は大変良いそうである。

クラブは文化部、運動部合わせて五十程あり、文化部の活動は、ここもあまり活発でないとのこと。

長髪について尋ねて見ると、絶対禁止だそうだ。下駄もまた厳禁で、下履は白靴、上履は黒靴と決まっていて、朝は玄関で生徒部の先生が違反者を調べている。

ホームルームで決められたことは、生徒委員会にかけられ、そこで認められたものは、職員会議ではかられ最終的決定は、校長の判断にまかされているがほとんどの場合が認められず、本校で度々行なわれる校長とクラス代表の懇談会のようなものは、今まで一度も行なわれたことはないそうである。

日も沈み、野球部が解散する頃の学園においとました。（H・H）

上履問題

非民主的な決定方法

統一は必要

このほど生徒部では上履を男子は緑の運動靴、女子はダンスシューズに統一することになった。

この変更は、いくら注意しても一向に減少しない靴の上下兼用者をなくするためのもので、すでに靴の注文も終った。

しかし、この変更によって、男子は白の靴を緑に変えねばならないため、反対の声が多い。

反対意見

○　相談もなくいきなり決定するのは、非民主的である。

○　靴を新調するのは、経済的負担が多く無理だと思う。

○　じゅうらいの靴に線を引くやり方を徹底させた方がよい。どうしても変更するのなら、期間にある程度の余裕をもたせて、その期間中に変更するようにしてはどうだろうか。

賛成意見

○　靴の上下の区別があまりにも混乱している現在、じゅうらいどうり、靴に線を引くだけではなまぬるい。

○　みんなの上履が同じ色だと、統制がとれてよい。

なお、靴のねだんは、二百八十円である。

部告

部員募集

中三・高一歓迎

新任紹介

新学年を迎え四人の先生方が赴任してこられた。この先生方に、①本校の第一印象 ②抱負 ③趣味などについてお尋ねした。

西田先生…東京教育大学卒、体育担当

①まだ教師としての実感がわからない。

②早く校風になじみ、一生懸命頑張りたい。

③遊ぶこと、空手

木戸先生…高知師範学校卒、今度城西中から赴任、書道担当。

①今までの公立校と違って、大変礼儀正しい。しかしもう少し自己主張があってもよいと思う。

②今まで通り筆一筋に生きて行きたい。

③書道だけ。しいれば釣、酒。

河原崎先生…神戸大学卒、英語担当

①学校が有名な程、校舎が良くない。学生はよく勉強しているしまた、体育の方面でもよく活躍しているが、非常に良いことだと思う。

②教師としてまだ一年生なので、自分のことを考えるのにせいいっぱいで、何も考える余裕がない。

③音楽を聞くこと。ぶらぶらと歩いたり、山などへただなんとなく登ったりすること。それに囲碁。

ものの見方について

交換新聞より

言葉の意味の説明というものはなかなか難しいが、我々日頃使いなれている言葉を、ユーモアを混ぜて説明しているのがある、紹介してみましょう。

遅刻　遅刻は欠課なり、というのが規則らしい。遅刻とは、その時間に教師より遅れて教室へ入ることを言う。ガッチリ遅刻をつける先生もいることだから、柔軟な身のこなしを早く習得することが肝心。ただし遅刻してもけっして走ってきてはいけない。ころんで怪我するといけないから。

蒸発　つまり、蒸気のごとく自己の席より姿を消すことを言う。エスケープ、脱出、サボリと同義語が多い。使い方は個人差が大きくあまりやると、学年の終りに蒸気のごとく上に昇らないで、沈澱する恐れあり。

帽子　帽子とは、学校を中心にした半径約八キロ以内では着用すべし。そして頭へのせるものであって所属の学校を示し学徒たることを証明する。不要のバアイは、カバンおよび手に持ち、登校した時は机のホコリをぬぐい、下校時は靴を光らすことに用うべし。

ズボン　ズボンは、黒色で筒が二本あるものを着用し、スマートにはくべきである。ただしネール首相のものよりは、ふと目の方が品位を保てる……

どうです、うまいこと説明できたでしょう。これなら満点。国語の教師とておよびますまい。

（早大学院新聞より）

食品添加物・薬品
有限会社 梅ケ辻薬局
梅ケ辻21　TEL ② 1069・5993

制服は 高知学服（入交）
中の橋電停北側
電話 ②2744番

現像・焼付・プロマイド
趣味 切手の店
高知市追手筋
土佐女高前　TEL ③9843

Kochi Ichino Teihyo
SUSI HA
KIKU-ZUSI
DAIMARU NISIGUTI

学生鞄・旅行用鞄
袋物の
マエダ鞄店
高知市帯屋町18
TEL ② 8600・8601

日本毛織 リファインテックス専売店
高級服地を進学進級に
毛織なら絶対折目はのきません
株式会社 丸賀洋服店
（信用を重んじて営業する店
服だけは信用ある店で）
高知市京町31
TEL ② 3370

辞書・参考書
ザッシ
螢雪時代
高校時代
中学時代
予約承ります
明文堂
堺町 TEL②六三九五

土佐名物東京への御土産に
立石蒲鉾店
本店 京町 電 ② 六二七九

サンゴはぜいたく品でありません
りっぱな工芸品です
土佐名産サンゴにカツオと
全国的に知られています
土佐名物サンゴと
装身具は
池田珊瑚店
高知市帯屋町一丁目
TEL ② 0358